

カリキュラム

機構施設名：静岡職業能力開発促進センター
 実施機関名：合同会社産業経営研究所

24-22-12-059-114

B. 組織マネジメント	059 災害時のリスク管理と事業継続計画
リスクマネジメント	

コースのねらい	災害は突発的に発生するため、緊急時の対応力が求められるが、想定通りに発生するはずもなく緊急時の対応・判断は難しい状況がある。そうした状況が発生した際にも復旧の遅れや自社のサービスが供給できないことによる顧客離れを防ぎ、事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日程				
				月 日	時刻			
講義内容	1 災害におけるリスクマネジメント	(1) 初動対応の重要性 初動対応に関する解説 <演習：地震シミュレーション訓練(初動対応訓練・グループワーク)> 実際に南海トラフ巨大地震が起きたことを想定し、初動の意思決定の訓練を実施します。	1.0	令和7年 2月6日(木)	9:30～16:30 屋休憩 12:00～13:00			
		(2) 災害の種類と損害 災害の種類と被害想定(南海トラフ巨大地震を中心に水害、新型インフルエンザ等)の解説と発生時にどのように事業継続に影響を与えるかを学びます。	0.3					
		(3) 災害リスクの洗い出しと分析及びリスクコントロール ハザードマップ等で自社の災害リスクを確認し、発生可能性やリスクの大きさから自社の被害想定やBCPの対象災害を決定する方法を学びます。 <演習：南海トラフ発生時の被害想定> <演習：リスク分析>	0.7					
	2 事業継続計画の策定	(1) 事業継続計画とは・事業継続計画策定の流れ ①事業継続計画策定の概要②事業継続計画策定の流れ ③災害対応力の高い事業継続計画を策定するためのポイント	0.2					
		(2) 事業継続計画の方向性と事前対策 ①目標復旧時間の設定②中核事業の設定③重要な経営資源の抽出とボトルネックの分析④事前対策の実施(実際に自社のBCPを策定する演習を行います。)	1.5					
		(3) BCP発動フローと実施体制 ①BCP発動フローの策定②災害対策本部と災害時の組織③避難計画と安否確認(実際に自社のBCPを策定する演習を行います。)	1.5					
		(4) マニュアルの作成 BCPをスムーズに運営するマニュアル類の紹介 <演習：自社の事業継続計画の策定(2-(2)、(3)で実施)>	0.3					
	3 事業継続計画の周知と改善	(1) 事業継続計画の教育・訓練・見直しについて ①BCPシナリオ提示型訓練②BCPシナリオ非提示型訓練③BCPの見直し <演習：自社のBCPシミュレーション訓練の立案>	0.4					
		(2) BCP事例紹介 事例企業がどのようにBCPを運用しているかを学び、BCP改善の参考にします。	0.1					
						合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント
①BCPに必要なポイントがスムーズに理解できるように地震シミュレーション訓練を最初に実施する。実際に南海トラフ巨大地震が起きたことを前提に、受講生が災害対策本部のメンバーと想定した訓練を行う。怪我人発生、帰宅したいという社員がいる。などイベントカードを配り、意思決定をしてもらう。②自社で実践できるようにするため、演習では講義で学んだことを前提に自社の事業継続計画を策定してもらう。演習中に講師より個別のアドバイスをを行います。